

塗料で、はひもり。
商標登録 第5866245号

橋守

橋守【はひもり】とは、橋を守る人、橋の命人ともいう意味です。古くには親子世代にも通って橋の近くに住み、橋を家族ぐるみで自分の家のもので守って来た人達がいました。

関西ペイントは「橋守」の精神を継承し、重防食塗料で、橋を守ります。

KCガード コンクリート保護工法 【CC-A、CC-B】

鋼道路橋防食便覧（塗装編） 平成 26 年 3 月 公益社団法人 日本道路協会



関西ペイントでは、以前よりコンクリート用塗料を「カンペKCシステム」として上市しておりました。このたび、鋼道路橋防食便覧（平成26年3月）が改訂されたことにより、新たに「KC ガード シリーズ」の「コンクリート保護工法」として製品ラインナップをさせて頂きました。コンクリートの保護、機能の付与など、あらゆるご要求にお応え致します。

特 長

- 鋼道路橋防食便覧（平成26年3月版）に対応します。
- 非劇物タイプとして製品を取り揃えました。
- CC-A工法の上塗りに落書防止用塗料「ケセルクリーン」の塗装も可能です。
- 上塗塗料は、低汚染タイプの塗料ですので、汚れを洗浄する機能があります。

詳細の塗装仕様書は、関西ペイント（株）ホームページにて公開しております。
http://www.kansai.co.jp/products/heavy_duty/shiyou/bridge/
防食便覧（平成 26 年、3 月版）に準拠する製品に関する詳細情報も関西ペイント（株）ホームページにて公開しております。
http://www.kansai.co.jp/products/heavy_duty/khd2/kikaku_binran26.html

● CC-A

CC-A 試験結果報告書

1/3

試験結果報告書

関西ペイント株式会社 監

一般財団法人 日本塗料検査協会 審査部
神奈川県横浜市中区新港1-1-1

依頼No. 1241222

報告日: 平成28年 5月 10日

品名	KCガード 鋼造橋脚塗料(CC-A)	試験交付日	平成28年 5月 10日
製造者	関西ペイント株式会社	試験数量	1
試験項目	外観	試験数量	1
試験の概要	塗膜は均一で、流れ・むら・はがれがない。	試験数量	1
耐候性	促進耐候試験を300時間行ったのち、白亜化はほとんど無く、塗膜に割れ、はがれは無いこと。	試験数量	1
遮塩性	塗膜の塩素イオン透過性が $10^{-2} \text{mg/cm}^2 \cdot \text{日}$ 以下であること。	試験数量	1
耐アルカリ性	水酸化カルシウムの飽和溶液に30日間浸せきしても、塗膜に膨れ・割れ・はがれ・軟化・溶出のないこと。	試験数量	1
コンクリートとの付着性	25/25であること。	試験数量	1
ひび割れ追従性	塗膜の伸びが1%以上あること。	試験数量	1

合 格

※記載又は一部は複製する場合は、事前に当協会に承認を受けて下さい。

● CC-B

CC-B 試験結果報告書

1/3

試験結果報告書

関西ペイント株式会社 監

一般財団法人 日本塗料検査協会 審査部
神奈川県横浜市中区新港1-1-1

依頼No. 124408

報告日: 平成28年 6月 17日

品名	KCガード 鋼造橋脚塗料(CC-B)	試験交付日	平成28年 5月 10日
製造者	関西ペイント株式会社	試験数量	1
試験項目	外観	試験数量	1
試験の概要	塗膜は均一で、流れ・むら・はがれがない。	試験数量	1
耐候性	促進耐候試験を300時間行ったのち、白亜化はほとんど無く、塗膜に割れ、はがれは無いこと。	試験数量	1
遮塩性	塗膜の塩素イオン透過性が $10^{-2} \text{mg/cm}^2 \cdot \text{日}$ 以下であること。	試験数量	1
耐アルカリ性	水酸化カルシウムの飽和溶液に30日間浸せきしても、塗膜に膨れ・割れ・はがれ・軟化・溶出のないこと。	試験数量	1
コンクリートとの付着性	25/25であること。	試験数量	1
ひび割れ追従性	塗膜の伸びが4%以上あること。	試験数量	1

合 格

※記載又は一部は複製する場合は、事前に当協会に承認を受けて下さい。

■ コンクリート塗装材料の品質規格

項目	分類	CC-A (PC桁などのPC部材)	CC-B (橋台、橋脚部などの鉄筋コンクリート部材)
		ひび割れ頻度が極めて少ないと考えられるコンクリート部材	コンクリート部材に、多少のひび割れを生ずるおそれのある場合
塗膜の外観		塗膜は均一で、流れ・むら・はがれのないこと。	同左
耐候性		促進耐候試験を300時間行ったのち、白亜化はほとんど無く、塗膜に割れ、はがれは無いこと。	同左
遮塩性		塗膜の塩素イオン透過性が $10^{-2} \text{mg/cm}^2 \cdot \text{日}$ 以下であること。	同左
耐アルカリ性		水酸化カルシウムの飽和溶液に30日間浸せきしても、塗膜に膨れ・割れ・はがれ・軟化・溶出のないこと。	同左
コンクリートとの付着性		25/25であること。	同左
ひび割れ追従性		塗膜の伸びが1%以上あること。	塗膜の伸びが4%以上あること。

※塗装材料は、立会試験又は公的機関における試験で品質規定に合格したものでなければならない。
 ※「コンクリート橋の塩害対策資料集-実態調査に基づくコンクリート橋の塩害対策の検討-」(国土交通省)に準ずる。

■ 塗装仕様例

CC-A ひび割れ頻度が極めて少ないと考えられるコンクリート部材 (PC桁などのPC部材)								
工程	塗料名	色	標準使用量 (g/m ²)	塗装方法	目標膜厚 (μm)	塗装間隔 (20℃)	標準シンナー希釈率 (重量比)	
現地	素地調整	コンクリート表面にレイトンス、じんあい、油脂類、塩分等が付着していたり、ぜい弱部があると、前処理のプライマーの密着性に悪影響を及ぼすことがあるので、素地調整でこれらの有害物やぜい弱部は確実に除去する。レイトンスや付着塩分及びぜい弱部の除去は、一般にディスクサンダーなどのパワーツールやプラストで行い、じんあいの除去は圧搾空気で清掃するのが効率的である。油脂類の除去はシンナーで拭き取るのが一般的である。						
	プライマー	KCエポプライマー	透明	100	はけ・ローラー	—	1日～10日	テクトEPシンナー 10～20%
	パテ	KCエポパテH	ライトグレー	300	へら	—		洗浄用 テクトEPシンナー 無希釈
	中塗	KCエポH中塗	指定色 淡	260 (320)	はけ・ローラー (スプレー)	60	1日～10日	テクトEPシンナー 0～5% (0～10%)
上塗	KCフロン(A)上塗	指定色	120 (150)	はけ・ローラー (スプレー)	30	テクト上塗シンナー 0～10% (10～20%)		

CC-B コンクリート部材に多少のひび割れを生じるおそれのある場合 (橋台、橋脚部などの鉄筋コンクリート部材)								
工程	塗料名	色	標準使用量 (g/m ²)	塗装方法	目標膜厚 (μm)	塗装間隔 (20℃)	標準シンナー希釈率 (重量比)	
現地	素地調整	コンクリート表面にレイトンス、じんあい、油脂類、塩分等が付着していたり、ぜい弱部があると、前処理のプライマーの密着性に悪影響を及ぼすことがあるので、素地調整でこれらの有害物やぜい弱部は確実に除去する。レイトンスや付着塩分及びぜい弱部の除去は、一般にディスクサンダーなどのパワーツールやプラストで行い、じんあいの除去は圧搾空気で清掃するのが効率的である。油脂類の除去はシンナーで拭き取るのが一般的である。						
	プライマー	KCエポプライマー	透明	100	はけ・ローラー	—	1日～10日	テクトEPシンナー 10～20%
	パテ	KCエポパテH	ライトグレー	300	へら	—		洗浄用 テクトEPシンナー 無希釈
	中塗	KCエポエラストH中塗	指定色 淡	260 (320)	はけ・ローラー (スプレー)	60	1日～10日	テクトEPシンナー 0～10% (0～20%)
上塗	KCフロンエラスト(A)上塗	指定色	120 (150)	はけ・ローラー (スプレー)	30	テクト上塗シンナー 0～10% (10～20%)		

■ 製品構成

塗料名	塗料一般名称	色相	容量
KCエポプライマー	コンクリート塗装用エポキシ樹脂プライマー	透明	20 kgセット / 5 kgセット
KCエポパテH [※]	コンクリート塗装用エポキシ樹脂パテ	ライトグレー (N-8近似)	18 kgセット / 6 kgセット
KCエポH中塗	コンクリート塗装用エポキシ樹脂塗料中塗	白・淡彩色	18 kgセット / 4 kgセット
KCエポエラストH中塗	コンクリート塗装用柔軟形エポキシ樹脂塗料中塗	白・淡彩色	13.5 kgセット
KCフロン(A)上塗	コンクリート塗装用ふっ素樹脂塗料上塗	各色	16 kgセット / 4 kgセット
KCフロンエラスト(A)上塗	コンクリート塗装用柔軟形ふっ素樹脂塗料上塗	各色	16 kgセット / 4 kgセット

※KCエポパテHを10℃以下で施工する場合は低温用硬化剤をご使用ください。

■ 塗装作業禁止条件 (鋼道路橋防食便覧 平成26年3月)

塗料の種類	気温 (℃)	湿度 (RH%)
コンクリート塗装用エポキシ樹脂プライマー	5以下	85以上
コンクリート塗装用エポキシ樹脂パテ	常温用	10以下 30以上
	低温用	2以下 20以上
コンクリート塗装用エポキシ樹脂塗料中塗	5以下	85以上
コンクリート塗装用柔軟形エポキシ樹脂塗料中塗	5以下	85以上
コンクリート塗装用ふっ素樹脂塗料上塗	0以下	85以上
コンクリート塗装用柔軟形ふっ素樹脂塗料上塗	0以下	85以上

※コンクリート塗装用エポキシ樹脂パテは、関西ペイント(株)製品規格となります。

※コンクリート表面がぬれていたり湿っている場合には、プライマーの密着性に悪影響を及ぼしたり、塗膜の膨れを生じることがあるため、コンクリート表面の含水率は高周波水分計で8%以下であることを確認すること。

■施工上の注意点

- 1) コンクリート表面がぬれていたり湿っている場合には、プライマーの密着性に悪影響を及ぼしたり塗膜の膨れを生じることがあるため、コンクリート表面の含水率は高周波水計で8%以下であることを確認することが必要です。
- 2) シンナーによる希釈は規定以内を厳守してください。

■その他の注意点

- 1) 塗付量及び膜厚…上記の塗付量及び膜厚は、一般的な条件での参考数値です。したがって被塗物の形状や塗料条件、および膜厚管理基準などによって増減することがあります。
- 2) パテの使用量は、コンクリートの素地の状態によって増える場合があります。
- 3) 塗装作業は、「公益社団法人 日本道路協会 鋼道路橋防食便覧」(平成26年3月版)に従って行うこと。
- 4) 塗料使用上の注意事項については、製品説明書を参照すること。
- 5) 塗料の安全に関する内容が必要な時は、安全データシート(SDS)を参照すること。

安全衛生上の注意事項

- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ①本来の用途以外に使用しないでください。 ②使用前に製品説明書、安全データシート(SDS)を理解して取扱ってください。 ③熱、火花、炎、高温になるような着火源から遠ざけて使用してください。 ④容器は密閉してください。 ⑤防爆型の電気機器、換気装置、照明機器を使用してください。 ⑥火花等を発生しない工具を使用してください。 ⑦粉塵、ガス、蒸気、スプレーなどを吸引しないでください。 ⑧取扱い後には、手洗いやうがいを十分に行ってください。 ⑨適切な保護手袋、防毒マスク、防塵マスク、保護眼鏡、保護衣を着用してください。 ⑩飲み込んだ場合や、目に入った場合は、速やかに医師の診断を受けてください。 ⑪皮膚や髪に塗料が付いた場合には、汚染された衣類を全て脱いで取り除いてください。また、皮膚に | <ul style="list-style-type: none"> 付いた場合は、多量の水と石鹸で洗浄してください。 ⑫皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けてください。 ⑬火災時には、炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いてください。 ⑭子供の手の届かないところで保管し、施設等の措置を講じてください。 ⑮直射日光や水漏れは厳禁です。 ⑯日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。また、輸送中も50℃以上の温度にしないでください。 ⑰内容物、容器を廃棄するときには、国、地方公共団体の法令に従って産業廃棄物として廃棄してください。 ⑱塗料、塗料容器、塗装用具を廃棄する時にも、産業廃棄物として処理してください。 ⑲容器や塗装用具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼす恐れがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。 |
|---|---|

ご使用上の注意事項

下記の注意事項を守ってください。詳細な内容については安全データシート(SDS)をご参照ください。

- 取り扱い作業中・乾燥中ともに換気の良い場所で使用し、粉じん・ヒューム・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。必要な保護具(帽子・保護めがね・マスク・手袋等)を着用し、身体に付着しないようにすること。
- 吸入に関する危険有害性情報の表示がある場合、有機ガス用防毒マスク、又は、送気マスクを着用すること。又、取り扱い作業場所には局所排気装置を設けること。
- 皮膚接触に関する危険有害性情報の表示がある場合、頭巾・エリ巻きタオル・長袖の作業着・前掛けを着用すること。
- 火気を避けること。静電気放電に対する予防処置を講ずること。
- 火災を発生しない工具・防爆型の電気機器・換気装置・照明機器等を使用すること。
- 裸火又は高温の白熱体に噴霧しないこと。
- 本来の目的以外に使用しないこと。
- 指定材料以外のものとは混合(多液品の混合・希釈等)しないこと。
- 缶の取っ手を持って振ったり、取っ手をロープやフックで吊り下げたりしないこと。
- 取り扱い後は、洗顔、手洗い、うがい、及び、鼻孔洗浄を十分行うこと。
- 使用済みの容器は、火気、溶接、加熱を避けること。
- 本品の付いた布類や本品のかす等は水に浸して処分すること。

- 目に入った場合：直ちに、多量の水で洗うとともに医師の診察を受けること。
- 皮膚に付着した場合：直ちに拭き取り、石けん水で洗い落とし、痛みや外傷等がある場合は、医師の診察を受けること。
- 吸入した場合：空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けること。
- 飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。
- 漏出時や飛散した場合は、砂、布類(ウエス)等で吸い取り、拭き取ること。
- 火災時には、炭酸ガス、泡、又は、粉末消火器を用いること。
- 指定容器を使用し、完全にふたをして湿気のない場所に保管すること。直射日光、雨ざらしを避け、貯蔵条件に基づき保管すること。子供の手の届かない場所に保管すること。又、関連法規に基づき適正に管理すること。
- 廃棄 本品の付いた布類や本品のかす、及び、使用済み容器を廃棄するときは、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処分すること。(排水路、河川、下水、及び、土壌等の環境を汚染する場所へ廃棄しないこと。)
- 施工後の安全 本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの場合は、施主様に対して安全性に十分に注意を払うように指導してください。例えば、不特定多数の方が利用される施設などの場合は、立看板などでペンキ塗り立てである旨を表示し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接することのないようにしてください。

関西ペイント販売株式会社

関西ペイントホームページ
www.kansai.co.jp

- | | | |
|------|--------------------|--------------------|
| 本社 | TEL (03) 5711-8904 | FAX (03) 5711-8934 |
| 北海道 | TEL (0133) 64-2424 | FAX (0133) 64-5757 |
| 東北 | TEL (022) 287-2721 | FAX (022) 288-7073 |
| 北関東圏 | TEL (028) 637-8200 | FAX (028) 637-8223 |
| 東京 | TEL (03) 5711-8902 | FAX (03) 5711-8932 |
| 中部 | TEL (052) 262-0921 | FAX (052) 262-0981 |
| 大阪 | TEL (06) 6203-5701 | FAX (06) 6203-5603 |
| 中国 | TEL (082) 262-7101 | FAX (082) 264-3285 |
| 四国 | TEL (0877) 24-5484 | FAX (0877) 24-4950 |
| 九州 | TEL (092) 411-9901 | FAX (092) 441-3339 |

※製品改良のため仕様は予告なしに変更することもございますのでご了承ください。

ご用命は